

「重度障害者用意思伝達装置」の 導入と支援のために

日時：平成24年2月17日（金） 13時30分～16時30分

場所：宮城県教育会館「フォレスト仙台」第2フォレストホール

（〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45）

<http://www.forestsendai.jp/>

【プログラム】

平成20年度報告「補装具としての重度障害者用意思伝達装置の適合と判定の課題」
（河合俊宏／埼玉県総合リハビリテーションセンター 相談部 福祉工学担当）

平成21年度報告「意思伝達装置の利用者ニーズからみた支援のあり方」
（柴田邦臣／大妻女子大学・准教授）

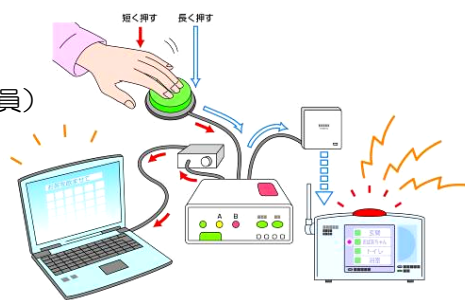
平成22年度報告「地域資源の活用と支援の連携」
（関本聖子／宮城県神経難病医療連携センター・難病医療専門員）

平成22年度・総括研究報告「意思伝達装置導入支援の現状と課題」
（井村 保／中部学院大学・准教授）

パネルディスカッション「意思伝達装置の継続的支援のために」
座長 青木正志氏（東北大学大学院・神経内科教授、
宮城県神経難病医療連携センター長）

コメンテータ 今井尚志氏（国立病院機構宮城病院診療部長）

パネリスト 上記の報告者4名



【意思伝達装置の展示・説明会】

9:30～16:40（講演中は休止）

昼休み時間帯（11:30～13:30）には
出展者プレゼンテーションも行います。

主催：「重度障害者意思伝達装置の支給と利用支援を包括する
コミュニケーション総合支援施策の確立に関する研究」班
<http://rel.chubu-gu.ac.jp/imura/mhlw-grants-22/>

共催：宮城県神経難病医療連携センター
公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

同日午前
連続開催

宮城県神経難病医療連携センター（旧、宮城県神経難病医療連絡協議会）

平成23年度第2回 医療従事者等実地研修会

神経難病患者の療養支援について

～コミュニケーション支援を中心に～

同日・同会場の午前（10時00分～11時30分）

【プログラム】

行政説明①「ALS患者等に対するコミュニケーション支援体制について」

行政説明②「仙台市における重度障害者コミュニケーション支援事業について」

研修講演「宮城病院におけるコミュニケーション障害への治療的アプローチ」

座長：今井尚志氏（国立病院機構宮城病院診療部長）

患者さんのWebカメラによる登場・発表もあります



【シンポジウム開催趣旨】

平成18年10月より、障害者自立支援法に基づく補装具になった「重度障害者用意思伝達装置」は、主たる利用対象者には進行性疾患である筋萎縮性側索硬化症（ALS）等の神経難病患者が多いため、従来の補装具とは異なり、継続利用のためには、支給判定の問題だけでなく、機器選択から継続的なフォローアップまでの一貫した、かつ連携のとれた支援体制が不可欠になってきます。また、意思伝達すなわち意思表出というコミュニケーションの確保は、重度障害者においても重大な課題であります。

これまでに日本リハビリテーション工学協会を実施主体として

- ・平成20年度厚生労働省障害者保健福祉推進事業（障害者自立支援調査研究プロジェクト）
「重度障害者用意思伝達装置の適正で円滑な導入を促進するガイドラインの作成」
- ・平成21年度厚生労働省障害者保健福祉推進事業（障害者自立支援調査研究プロジェクト）
「重度障害者用意思伝達装置の継続的利用を確保するための利用者ニーズと提供機能の合致に関する調査研究事業」

の調査研究を行い、導入ガイドライン作成・公開を通して、関係者への共通の理解を促すとともに、各地で報告会を開催することで、その普及・啓発に努めてきました。しかし、支援体制のあり方という点が残された課題となっており、これまでの調査結果をふまえて、

- ・平成22年度厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業（身体・知的等障害分野分野）
「重度障害者意思伝達装置の支給と利用支援を包括するコミュニケーション総合支援施策の確立に関する研究」（研究代表者：井村保）

において継続的な調査研究を実施しました。

これらの調査を通して、今後の支援体制のあり方について提言を盛り込んだ研究報告書は平成23年9月にまとめて公開しましたが、この3年にわたる調査研究の成果（結果概要）を一般向けに報告する機会として、このシンポジウムを企画しました。

《関連ホームページ・報告書等のダウンロードURL》

- ・「総括研究報告書」（研究班ホームページ）
<http://rel.chubu-gu.ac.jp/imura/mhlw-grants-22/>
- ・「重度障害者用意思伝達装置」導入ガイドライン（日本リハビリテーション工学協会ホームページ）
<http://www.resja.or.jp/com-gl/>

【参加申込】

この用紙に、必要事項をご記入の上、現地事務局までFAX頂くか、メールで必要事項をご連絡下さい。お送りいただいた個人情報は、主催者・事務局にて管理し、本シンポジウム・研修会開催の目的以外には使用しません。

お名前	
ご所属	
ご連絡先	
参加区分	() 午前（医療従事者等実地研修会） () 午後（シンポジウム） ※両方参加の方は、両方に ○
参加動機 など	

※昼食は、各自でご用意下さい。会場付近にも、若干の飲食店がありますが、混雑が予想されます。会場内で、ご持参いただいたお弁当を食べることもできますが、ゴミは各自でお持ち帰り下さい。

（申込先）現地事務局／宮城県神経難病医療連携センター（旧、神経難病医療連絡協議会）

<http://www.miyagi-nanbyou.jp/>

FAX : 022-308-3316

メール : kyogikai@miyagi-nanbyou.jp